

令和2年度 学校法人羽陽学園 事業計画

○羽陽学園短期大学

1 教育の質的改革

令和2年度の高等教育修学支援新制度の対象校に認定されましたが、今後は毎年6月に申請・審査されることとなっており、確実に認定されるよう教育及び学生支援制度の充実に努めます。この新制度では、教育・経営状況の公開が義務づけられており、本学の丁寧な教育を地域社会に理解してもらうよう努めます。

平成30年度から私立大学等経常費補助金に関して「教育の質に係る客観的指標」調査票の提出が義務づけられました。この点からも、引き続き、教育の質的改革に取り組み、経常費補助金の維持獲得に努めます。

2 学生確保

令和3年度からは高大接続改革でセンター試験をはじめ大学入試が大幅に変わります。本学に関係するところでは、推薦入試等において、単なる面接ではなく高校での学力を評価できる口頭試問等を導入することが求められています。

多様な入試制度を準備して、本学の建学の精神に合致する優秀な学生に入学してもらえるよう努めます。

また、社会人など多様な人材の受入れについては、社会的要請も大きく、離転職者職業訓練事業にも引き続き対応していきます。

3 地域連携の強化

本学は、令和元年度から「山形県未来創造プラットフォーム」に参加したところです。これは山形県内高校生の高等教育機関への進学率と地域への就職率を上昇させることを目的とする大学間連携事業です。

従来からの「大学コンソーシアムやまがた」と合わせ、県内他大学と協力しながら、本学の特徴をアピールして入学生の確保にもつなげるべく努力します。

4 資源を有効に利用した安全で快適な教育環境の実現

空調設備は、媒体（フロンガス）の製造停止と老朽化により更新を迫られています。効果的な設備の配置計画を作成し、関係省庁の補助条件との適合性も勘案しながら、空調設備の導入を進めます。情報処理教育用機器の更新も迫っており、今後の教育のあり方を勘案しながら検討を急ぎます。

5 コンプライアンスの重視

交通事故や犯罪はいうまでもなく、ハラスメントも含めて、加害者となることのないよう、また被害を受けた場合の正当な人権の確保など、コンプライアンスの重要性について周知徹底に努めます。

○山形調理師専門学校

1 実務経験豊かな教員の陣容を活かした学生の資質向上

調理師資格取得に向けて、「調理師養成施設指導ガイドライン」に基づき、各教科科目や実習内容の充実を図るとともに、実務経験豊富な教員の陣容を活かし、学生の資質向上に資するよう指導の充実に努めます。

2 入学者増に向けた学生募集の充実

- (1) 進路相談会を活用するとともに、高校訪問の機会を増やし、オープンキャンパスの周知、並びに調理高度技術科は高校新卒者向けのAO入試制度の魅力の浸透を図ります。
- (2) ホームページは各種情報の公開、日々の活動は「山調ブログ」を活用し、魅力ある情報発信に務めます。また、パンフレットをはじめとした紙媒体など多様な媒体を活用した学校活動の広報を行います。
- (3) 厚生労働省の「教育訓練給付制度」の指定専門学校であることを広く周知し、調理師科への社会人や離職者の入学者増に結び付けます。

3 魅力ある学校づくり

- (1) 指導計画を全学生に配付するとともに、ホームページで公開し、充実した授業を展開していきます。
- (2) 基礎基本が習得できる指導を徹底するとともに学生の社会性の涵養を図ります。加えて、全員の資格取得に向けて、欠席・欠課に対するきめ細かい指導を行います。
- (3) 教員の各種研修の機会を設け、指導力の向上を図ります。

4 就職指導の充実

- (1) ミスマッチを起こさないよう面談指導を充実するとともに、インターンシップを通して、学生の職業意識の高揚を図ります。
- (2) 教職員による事業所訪問で職場開拓を進め、学生には社会人として必要な一般常識の指導を徹底し、希望者全員の就職決定を目指します。
- (3) 卒業生や調理関係業界の協力による普段と異なる実習の機会もまた進路意識の向上に繋がります。

5 施設・設備の充実と有効活用

- (1) 施設・設備の補修点検、教具・備品の整備充実を図ります。
- (2) 環境美化と清掃の徹底を図ります。
- (3) 学校の機能と施設設備を活用した地域貢献を継続します。

○附属幼稚園・認定こども園

1 附属幼稚園の幼保連携型認定こども園化

附属幼稚園の認定こども園への移行について、大宝幼稚園については、令和2年4月から幼保連携型認定こども園へ移行します。

他の2園については、引き続き、地域のニーズや実情、現有建物の各室配置や平面計画等を総合的に勘案し、移行形態や改修計画、移行年次等を検討していきます。

2 三位一体の園児募集

引き続き、附属幼稚園としての「売り」や園児と羽陽の里たかだまの利用者との触れ合いを通じた豊かな人間形成につながるメリットを強調し、短大、幼稚園、そして羽陽の里が三位一体となって園児募集の推進に努めます。

3 資質向上

より充実した幼児教育を行うためには幼稚園教諭・保育教諭の資質向上が不可欠であり、園内研修の充実を図るとともに、山形県幼児教育研究会主催の研修会をはじめ附属幼稚園・認定こども園の研修会や外部への派遣研修等も含め、各種研修事業へ積極的に派遣します。

4 預かり保育の充実

保護者の要望にできるだけ応えるため、「預かり保育」の充実をはじめ、社会性を持たせる教育や自然体験学習を推進するため、きめ細かな保育の充実に努めます。

5 羽陽学園短期大学との連携・交流の促進

附属幼稚園・認定こども園の円滑な運営を図るために、羽陽学園短期大学と一体となった附属園長会議の定期的な開催など、附属幼稚園・認定こども園・羽陽学園短期大学との一層の連携・交流を強化しながら、幼稚園等が抱える課題解決に努めます。

6 施設・設備の安全点検

附属幼稚園の施設・設備について、定期的な安全点検に努め、不具合の箇所など必要に応じ修繕を行います。